

PTAだより

第74号

<市P連事務局>

〒923-0927 小松市西町25番地
小松市立芦城小学校内

TEL (0761) 23-2478

FAX (0761) 23-0902

E-MAIL pta@kec.hakusan.ed.jp

www.hakusan.ed.jp/
kcpta/

平成22年10月1日発行
市P連広報委員会

印刷：有限会社 斉藤印刷



子供たちの成長と 地域の発展を目指して

小松市長 和田 慎司

PTA連合会の皆様方には、学校と地域の連携による様々な活動を通じて子供たちの成長と市の発展にご尽力をいただき、心からお礼申し上げます。

少子高齢化の進展や、複雑化・グローバル化する社会情勢、さらには地球環境問題など、私たちを取り巻く環境は依然として難題が山積しています。そんな中、心身ともにたくましく、世界の中で強く生き抜いていける人材を育てていくことが、われわれ大人の役目でありませう。また、三世代家族が一緒に暮らし、世代間の交流が盛んに行われているまちは笑顔があふれ、その交流によって生まれた絆が「地方の時代」に強いまちを創っていくと信じています。それらの実現のためにも、ぜひPTA連合会の皆様の力強いご支援とご協力をお願いする次第です。

と人とのつながりを大切に、周囲からの環境づくりによって、家庭の教育力も高めていこうという素晴らしいものです。夏休み中には、学校と連携した「生活習慣チェックシート」や早寝早起き朝ごはんに関する標語ポスター、朝ごはんレシピなどの募集、さらに朝のラジオ体操の活性化など多くの取り組みをしていただき、大変うれしく、感謝申し上げます。

小松市は今年、市制70周年を迎え、多くの記念事業や市民協賛事業を実施しながら、自然、歴史文化、食などの魅力アップと発信によって、交流人口の拡大を目指しています。連合会の皆様方にも、関連事業の参加や市民協賛でのご協力をよろしくお願いたします。

11月14日に開催される「早寝早起き朝ごはん運動」小松市民大会が、年間活動の総括として大いに盛り上がり、今後の活動につながっていくことを期待いたしますとともに、会員の皆様方のますますのご活躍をお祈り申し上げます。



他人の振り見て 我振り直せ

小松市立学校PTA連合会
会長 西出 稔

先日、久しぶりに出張に出かけました。朝一

番の電車で、うつらうつらと居眠りしている人が多くいる中で、福井から数家族の団体が乗り込んできました。どうやら甲子園に行くようだ。家族旅行でウキウキ気分、子ども達は大はしゃぎ。(それもしょうがないかな)一人の母親は、子どもを「ダメやろ」「何してるの」と大きな声で叱る。叱るのはいいが通路を挟んでしかも2列後の子どもを叱るのだから当然大きな声になる。まるで、一角が家の居間にいるような感覚?そのうち私の頭の上を菓子箱が飛んできた。「ナイスキャッチ」と母親が言う。

「他人の振り見て我が振り直せ」よく親から言われたものだ。と言うより親同士の会話を子どもながらに聞いていただけかもしれない。家庭の中の何気ない会話から、世の中の厳しさや、人との交わり大切さ、そして他人を尊重気持ち、感謝する気持ちを子どもは学んでいくものと思えます。私たちは今、「早寝早起き朝ごはん運動」を通して、この当たり前の家庭のあり方を今一度見直し、毎日の規則正しい生活の中で子どもも大人も成長していく事が大事だと思います。子どもは、私たち大人の生きる姿や勉強する姿から学んでいくのではないのでしょうか。

波佐谷小学校

研究大会発表を 振り返って

波佐谷小学校 PTA 会長

寺山 陽一郎

2年前の秋、波小単P役員会に呼ばれ、自分が単P会長となる平成22年度に、波小が研究発表指定校である事を、初めて知らされました。そして、1年前に研究発表実行委員会を立ち上げ、毎月の実行委員会を経て、直前の6月以降は、パワーポイント・ナレーションのリハーサルを重ね、慌しく本番。1週間後には、実行委員会の発展的解散式を兼ねた打ち上げと、こうして足かけ2年間の研究発表活動は無事エンディングを迎えました。

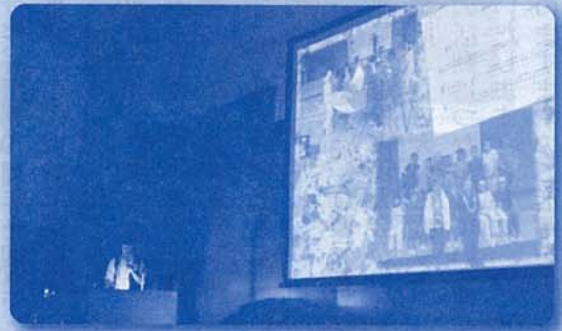
テーマについては、私達の波佐谷小学校の特徴（恵まれた自然環境↓自然環境を生かした自然学習・PTA行事↓小規模校の限界↓家庭・学校・地域の連携）から必然的に導かれたもので、特に研究発表という形式にはこだわらず、素材に将来の波佐谷小の子ども達やPTAに何が残せるのかという想いをシナリオ、映像、ナレーションに載せていきました。限られた人数の中、委員の人達には、各人得意分野でそれぞれ隠れた能力を發揮してもらいました。

まずは、春夏秋冬という季節の移り変わりの映像の中で、流れる様に各行事を紹介していくパワーポイント・スライドや締切を一日延ばして深夜のメールのやり取りで完成した紀要制作では、2人の技術班が大活躍でした。

ナレーションパートは、3人の会員女性にお願いました。ナレーションとスライド映像を合わせるため、個別に録音しパート練習。その甲斐あって本番では感

動的なナレーションとなりました。そして、本番でのライブBGM、サブライズ演出で思わず拍手がわき起こったガートさん。ガートさんのお陰で見え始める発表、記憶に残る発表になったのではないかと思います。打上げではまっ先に乾杯の音頭をお願いした教頭先生には、正にこの2年間投げ出したくなる所を陰から一生懸命支えてもらいました。

研究発表実行委員会は解散しましたが、技術班は当日の発表・録音を記録メディアに残すべく編集中です。当初の目的通り、将来の波佐谷小の子ども達やそのPTAに現在行われている自然学習・行事を、研究発表記録として残していく事ができそうです。この発表には、テーマに沿ったアンケートも、グラフも、分析図も出てきません。さらに、波小PTAの組織にすら触れていません。ただ私達が言いたかった「私達PTAが家庭と学校と地域をつなぐパイプ役」という想いだけは、皆さんに伝えられたのではないかと信じております。



芦城中学校

研究大会を終えて

芦城中学校 玉成会会長

馬場 英樹

今回の研究発表大会では、「夢を味方に、未来を切り拓こう」というテーマで、本校が15年前から取り組んでおりますキャリア教育の3つの事業「職場見学」・「職場体験」・「ようこそ先輩」を紹介いたしました。

昨年、実行委員会を立ち上げ、3つの事業の写真や子どもたちの感想文などを集めると共に、これらの3つの事業がどのような経緯でスタートしたのか、開始年度はいつごろで何年間継続されているのかなど過去の資料を調べ、研究大会の準備を進めて参りました。

特に発表の内容では、各々の事業の目的や内容を明確にし、子どもたちが何を感じ取ったのかをできる限り分かり易く表現するよう心掛けました。そして、期待される効果や今後の課題など事業の成果について改めて見直すことができ

■日時：平成22年8月1日(日) ■場所：こまつドーム集会室

PTA研究大会

小松市教育委員会表彰式

- ・長田 竜太
- ・吉村 範明
- ・佐藤 敦子



小松市立学校PTA連合会会長感謝状

〈地域功労賞 個人〉

- ・余助 幸一氏
「地域の先生」松陽中学校
- ・竹本 勇氏
「地域の先生」向本折小学校



日末小学校

研究発表を終えて

日末小学校 育友会会長

竹中 豊太郎

私は、3年前より日末小学校育友会の理事として、育友会活動に参加して来ました。初めは、活動内容に対しての認識が全く無く、その中で平成22年度小松市PTA研究大会の指定校であることを聞かされました。大変な時期に役員を受け持つことになったのが多くありました。そうした状況の中で、以前より「食育」を通して、親子、学校そして地域の方との結びつきがあることを育友会役員や学校の先生方との会話から知りました。そこで私は、この日末地区には、子どもたちの成長を支えてくれ、あたりまえの様に思いがちな地域の人々や自然が豊かであり、そのことに対しての思いやりや感謝の気持ちを持つことが大切であると思いました。

今回の研究大会に向けての取り組みを実行委員会の中で論議しました。そこでも全く新しい活動を増すというより、従来の活動を人や自然に対しての感謝の気持ちを意識しながら、家族が絆をより深められる活動内容に企画運営すること決めました。どの育友会役員の方も例年の活動を「こなす」という感覚ではなく、それぞれ熟慮し、新鮮味のある活動が盛り込まれていました。

「秋の夜長を楽しむ会」は、親子、家族が秋の夜長をゆっくりと楽しむことを目的としている行事ですが、今回は、3部構成で行われ、地域の方も参加して頂き

第53回 小松市

8月1日(日)こまつドームにて第53回小松市PTA研究大会が開催されました。平成22年度は「共に生きよう！今、私たちができること」～感謝の気持ち・生きる力を育むために～をテーマとし、和田市長をはじめたくさんのご来賓の方をお招きしてお互いの活動を報告し合いました。今年は波佐谷小学校PTA・日末小学校育友会・芦城中学校玉成会の3校が、それぞれの地域の特色を生かした心に響く発表でした。

大会後半では、非行に走る少年少女とその親達のカウンセリング活動を続ける伊藤幸弘教育研究所(静岡)の伊藤所長の熱い講演がありました。親子の信頼関係についてを題材に、会場の多くの保護者の共感を呼ぶ感動的なトークでした。

また、開会式におきましては日頃PTA活動や子ども達の健全育成に努められた方への表彰も行われました。



講師：伊藤 幸弘氏
(伊藤幸弘教育研究所 所長)

それぞれに文化や芸術に親しむ時間を持てました。また、「育友会バザー」では、親子と一緒にビーズアクセサリー、しおり、スライムを作るコーナーを設け、手作りの良さを実感しました。ハートフルコーナーでは、例年とは違い、インテリアデザイナーのカズさんをお招きして、生の筆さばきを間近に体感できたことが、子どもたちに豊かな心を育んだものと思います。この研究会で詳しく発表されなかった活動もありますが、それぞれの活動を通して、子どもたちは、家族や地域の方々との絆を一層深めることになったと信じています。

今後とも育友会活動の目的、主旨、指針を確認しあい、子どもたちの心身共に健やかな成長を見守りながら、育友会活動を継承して行きたいと思っております。



たことは今後の活動に大きくプラスになったのではないのでしょうか。PTAの組織は、単年度で交替し、その事業の目的やいつごろから実施されているのかなど分らないまま行っていることが多いと思いますが、今回の研究大会を通して保護者の皆さんや先生方に少しでも理解を深めて頂けることができ、大変良い機会を与えられたと思います。

最後に、これまでご協力頂きました関係各位に、心から感謝し御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

第1回母親委員会

◆日時 平成22年5月28日(金) 18:00～

◆場所 サンルート小松



平成22年度 母親委員事業計画(案)の説明がありました。

各母親委員の方々は殆ど初対面で、最初は緊張していましたが、徐々に打ち解けて会話も弾み、和やかな時間を過ごすことが出来たようです。
また各グループ毎の役割分担もスムーズに決まり、これから1年の活動も頑張っ取り組んでいきたいと思ひます。

”ビタミン愛“で 逞しく生きる力を



母親委員会担当校長
波佐谷小学校 板倉 順子

「母の日に 野球で勝つて プレゼント」

この句は、本校で取り組んでいる「やまびこ俳句」で投稿されたもので、「母親に喜んでもらえるプレゼントができた」という子どもらしい素直な気持ちがこめられており、親子で楽しく勝利を喜びあつた場面が浮かんでくる、ほのぼのとした作品です。

このように子ども達は「喜んでもらいたい」という思いで様々の事に努力したり、未知のものに挑戦したりするのではないのでしょうか。

しかし必ずしも努力がいつも報われるとは限りません。親や教師の期待を裏切ることも多々あります。子どもが自信をなくし、打ちひしがれている時こそ、親や教師の出番です。「失敗は成功の下」「七転び八起き」等先人が残した前向きな格言があるように、結果より努力した事を認め、自信を取り戻し自己肯定感を持たせ、新たな困難に立ち向かえるように子どもと関わり合うことが大切です。

詩人・書家として多くの人々の心を勇気づけている相田みつを氏が小学校のPTAの会長をされたときに、「未来は誰にもわからない」「子どもはその未来を生きるものである」「その時親の手は届かない」と3つの言葉をノートにメモされていたそうです。

将来、子ども達が親の手を離れ自立して生きていくために、私達親と教師は連携し、失敗やつまづきを温かく見守り、「ビタミン愛」を子ども達にたっぷり注ぎ、自信と誇りを持たせることが、未来を拓く逞しい力を育むことに繋がると思ひます。

読んで みまっし♪

子どもは「話し方」で9割変わる
福田 健 著

親と子のみならず、周囲の人達とのコミュニケーション能力の向上にお役にたてる一冊です。



二冊とも
りくつな本やわ～



最高の出逢いが人生の勝利
伊藤 幸弘 著

高校中退後に構成員15000人の暴走族の2代目総長を経て、自らの非行・更生経験を生かした話題作。
青少年育成コーディネーター・伊藤幸弘教育研究所所長として現在活躍。

第2回母親委員会

◆日時 平成22年6月25日(金) 19:00～

◆場所 芦城センター

多忙な親の感情で
子どもと会話を
していませんか



適度な子どもへの期待は
その子の動機付け(やる気)
を起こす事が出来る



講演タイトル

『親の言い分 子どもの言い分』



感謝は感じるもの!!
子どもにしっかり伝えよう!!

講師
藤原 清道氏

子どもは
親の言葉で少しずつ
変わっていく。



広報委員の紹介

今年度 私達が担当します。
よろしく御願います



中川 恵 (符津小)
谷口 美幸 (蓮代寺小)
田川 陽子 (中海小)
梅川ゆかり (月津小)

講演会の感想

- ☆ 日常の中で、“あるある！”
“そうだ！”と同感する部分の多い
内容だった。
- ☆ 我が子の短所・長所を最初から決
めつけて見ていた。
もっと多面的に見ていきたい。
- ☆ 自分の価値観を子どもにも押しつ
けない。
自分の所有物ではないのだから…
- ☆ 子どもの顔を思い浮かべながら聞
いていて、アッという間の時間だ
った。
- ☆ 『目から鱗』『痛い所をつかれた』
的なことばかりで勉強になった。

◇ 早寝早起き朝ごはん運動のついで ◇

特別委員会 委員長 新田 寛之

『早寝早起き朝ごはん運動』も本年度で4年目となりました。これまで以上に充実した内容を目指し活動しております。朝ごはんも、とりあえず食べれば良いという考えから、栄養のバランスを考えた朝ごはんを食べようという高い意識に少しずつ変わってきています。これは『早寝早起き朝ごはん運動』自体が世間に浸透してきたことを意味するのではないかと考えています。子ども達だけではなく、大人も含め、早寝早起きをし、バランスの良い朝ごはんを食べるという習慣を、前向きに取り組んでいかなければならないと思います。

時代は常に進化しています。情報化や多様化が進み、我々の生活も暮らしやすい環境へどんどん変化していきます。それと同時に、子ども達を取り巻く環境も常に進化しています。パソコンやインターネット、ケータイやゲームなど、大人と同様に我々の生活に深く入り込んできているのが現状です。インターネットやケータイなしでは生活出来ない、と言っても過言ではないような時代になってきました。しかし、時代や生活がどれだけ進化しても変わらず普遍的な価値観というものがあると思います。そのすべての基本が『早寝早起き朝ごはん』ではないでしょうか。小学校、中学校という人生の中でも一番大事な時期を、規則正しく過ごすことが人間形成においてとても重要だと考えます。昨年同様、夏休みの前半と後半の一週間に生活習慣チェックシートを付けてもらい、規則正しい生活リズムや行動意識を高めました。楽しさ一杯の夏休み前半から、宿題の仕上げに追われる後半での、生活習慣の改善に繋がれば良いと思います。

今年も『早寝早起き朝ごはん運動小松市民大会』を開催いたします。今年度は小松市制70周年ということもあり、PTAとしてだけではなく小松市全体、地域全体で取り組んでいきます。子ども達には、夏休みの課題として『早寝早起き朝ごはん運動』に関する「朝ごはんレシピ」「標語」「ポスター」などの作品を募集しました。その中から厳選した優秀作品を表彰させていただきます。また、地域や町内会などで『早寝早起き朝ごはん運動』に関する活動を活発にしていたいただいた団体に地域功労賞を贈らせていただきます。また、本年度は世界的にも有名で、石川県七尾市出身のバテシエ工口博啓氏を迎え、楽しい講演をいただく予定をしております。お誘い合わせの上、たくさんのご来場を心よりお待ちしております。

最後にありますが、関係各位をはじめ多くの皆様のご厚情に感謝申し上げますと共に、今後も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



まあ 食べないよりいいか・・・ by T・S 広報委員

『ケータイ電話問題講習会』開催

新世代委員会 委員長 山崎 由裕

5月24日(月)、各PTAの会長、母親代表、市PTAの役員を対象に、「ケータイ電話問題講習会」を、小松市教育センター指導主事、谷口一登先生を講師に招いて、市役所で開催しました。参加者は71名で、全小中学校から参加いただきました。

夜7時30分から、1時間にわたり、先生のお話とDVDの映像で、とても分かりやすく、ケータイやインターネットの危険性を教えていただきました。

参加者の多くの感想を見ると、かなり衝撃を受けたようでした。大人にとつての「携帯電話」は、子ども達にとつて「ケータイ」であり、メールやサイトを中心とした使い方は、全く大人と違います。私たち小中学生の保護者にとつて、自分の小中学生時代に無かった道具です。子どもたちに買わせることは、使い方によっては危険であることを漠然と認識していても、具体的にどうなのか知りません。講習会は、まさしく「目からウロコ」の内容でした。

ケータイやインターネットを、心の発育途上の子どもに使わせることは、とても危険なことです。小松市PTA連合会では、小中学生に携帯電話を持たせない活動を推進しております。また、それぞれの学校でも「ケータイ電話問題講習会」を随時開催していますので、保護者の皆様に、ぜひ参加して頂き、携帯電話の危険性について、正しい御理解をお願いいたします。



第一回会長研修会を終えて

総務委員会 委員長 横山 康治

第一回会長研修会が、6月10日(木)こまつまちづくり交流センターにて行われました。今年度最初の研修会ということもあり、各単P会長の方々も緊張感の中、熱心に研修会に参加をいただきました。今回は初めて、我々市P連の先輩でもある、小松市教育委員会委員長の北村嘉章氏をお招きし、「市P連に期待すること・教育界でしなければならぬこと」をテーマに、これまでの豊富な経験を基にしたご講演をいただきました。

講演の中では、縁や恩を大切に、子ども達を自立させ、そして開花させることが重要であると説かれ、またPTAも組織として必要な変革や継続を大切に、運動体としてスムーズな運営をすることが大切であるというお話をされておりました。

また市P連の事業の重要性にも触れ、中でも8月に行われる研究大会は、各校の発表を聞いた参加者が、2学期以降あるいは次年度の各単Pの活動の大きな参考になるものであり、発表する側においても聞く側においても非常に重要な事業であると話されておりました。

さらに、魅力が無いと何をしても面白くないので、それぞれの学校あるいは事業において、それぞれの持つ特色を出すことが大切であると話され、教育界でしなければならぬことについて、期待を込めてご講演をいただきました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



親子伝統文化体験

平成22年8月8日(日)



豊かな心を育む委員会 委員長 山内 豊

8月8日(日)加賀伝統文化アムニティ伝統工芸村「ゆのくにの森」にて、親子伝統文化体験事業を、親子60名の参加を得て実施しました。本年度は市政70周年と言うことで、市P連のメインテーマであります「早寝早起朝ご飯運動」が提唱されていることから、この親子体験事業も何か関連することができないかと委員会ですべて探っていました。そこで石川が誇る伝統工芸で「早寝早起朝ご飯運動」に関連するものを、体験しながら製作していただき伝統文化の大切さと、親子のふれあいの大切さを見直し、心豊か人間性を養うと共に、他の親子との交流により家庭教育に関する情報交換や新しい仲間作りをしていただくことを目的として企画しました。

お子さんも親御さんも真剣に取り組んでいる姿に、お子さんだけ、親御さんだけではなく、親・子・で、体験することが大切だなと感じながら、親子の様子を拝見させてもらい、今回は小学1年生で参加することは出来ませんが、自分も子どもと参加できればいい感じでした。

食事は和紙の館で、2グループに別れそば打ち体験と和紙の手漉き体験を交互にしました。自分で打ったそばは格別においしかったのか、結構なボリュームがあったにも関わらず足りないと言う声が多かったようです。お昼からは場内を散策していただき、デザートを食べにこようぶどう園に向かいぶどう狩りを楽しんでいただきました。その場でぶどうの房を切り取り食べる、普段では出来ないこと体験していただき喜んでいただきました。

あつと言う間の体験でしたが、感想を書いていただき、喜んだ事、貴重な体験が出来たなどたくさん感想をいただいた時は、委員会で時間を費やしたことも忘れさせられ、メンバーで喜ぶことが出来ました。体験をサポートする方にまわり親子での共同作業を拝見することで、子どもも親御さんも忙しいご時世で、どうやって時間を作り出して、どれだけ子どもと関わられるかが大切だなと感じました。

この親子伝統文化体験事業を開催するにあたり、参加した親子の皆さん、協力していただいた企業の方、関係者の皆さん、そして委員会メンバーの皆さんには本当に感謝しております。ありがとうございます。

… 保護者の感想 …

今日は、ありがとうございます。伝統文化の豊かな土地に住みながら体験した事無い物ばかりで親子共々楽しくすごしました。参加するまでは「？」だった子供達も夢になっていました。参加してよかったです。(N様)

そば打ち体験楽しませて頂きました。家庭でそばを打つことはなかなかできることはありませんから貴重な体験を親子で味わうことができました。(U様)

ゆのくにの森は初めて訪れましたが、普段なかなか体験できないことがたくさんあり驚きました。娘も自分で何かつくるのが大好きなので参加できて本当に良かったと思います。森の中を散策するのも時間を忘れて親子でトンボを追いかけたり自然を満喫できて幸せでした。やっぱり、せっかく石川県に住んでいるのですしたくさんの伝統文化を日頃から身近に感じ、大切にしていかななくてはと再認識させられました。(H様)

今日はたくさん初めての体験を子供と一緒にする事が出来ました。輪島塗りは予想以上にきれいに仕上がって感動でした。自分達で打ったそばとおにぎりの昼食はおいしかったです。ぶどう狩りではぎっしりと実のつまったぶどうにまた感動！手がネットになる程甘いぶどうでした。楽しい体験ありがとうございました。子供もとても楽しそうでした。(Y様)

親子そろって何か作業をする機会が今までにほとんど無かったので今日は良い経験が出来ました。本当に良かったです。特に手びねりでは、久しぶりに粘土をこね、だんだん熱中して子供をほっぽって楽しんでしまいました。お世話を下さった皆様方、本当にありがとうございました。(D様)



… 子どもの感想 …

今日は、とても楽しくて色々な体験が楽しかったです。そば打ち体験は最初から(そば粉)作ってとても疲れました。作ったそばを食べたときはとてもおいしかったです。ゆのくにの森はとても広くてビックリしました。ぶどう狩りは2個も食べました。美味しかったです。また行きたいです。とても楽しかったです。(Iさん)

九谷焼の絵付けをして思ったことは、何回もやったことがあったけど、今日が一番上手にできたので良かったと言うことです。(時間ギリギリまでしました)ぶどう狩りではとてもおいしいぶどうを食べられてよかったのですが「蚊」に刺されるのが痛かったです。(Kさん)

「ゆのくに森」では輪島塗りなど、さまざまな貴重な体験が出来たので良かった。私は特に「輪島塗り」の体験が楽しかった。キーホルダーに模様を付けて、金色の粉をかけると模様溝に粉が入りきれいだったので感動した。是非、また来たいと思った。「ぶどう」もどれも甘くて美味しかったです。(Nさん)

一番楽しかったのは紙すき体験です。葉っぱを乗せるときはどこに乗せようか迷いました。最後の液をかけるときに色々な色や、金箔、銀箔があつてすごいと思いました。出来たランチマットは大切にしたいと思います。(Uさん)

輪島塗りの館では書を彫って絵を描いたのが初めてで良い体験になったと思いました。ガラス工芸でペーパーウェイトを作ってイルカの絵の物を作りました。楽しかったです。次はオルゴールの館を体験したいです。(Tさん)

単Pだより

中海中学校 育友会

親子で築く達成感

第5回 中海中学校ウォーキング2010

中海中学校育友会が、夏休みにウォーキングを主催して、今年で5回目になりました。今年は、8月29日(日)朝6時に中学校を出発し、緑濃い山間を歩き、辰口丘陵公園までの往復約19キロを、生徒160名、保護者、地域住民、教職員80名の計240名が歩きました。また、この大勢の集団歩行を保護者60名が、給水、誘導、救護、食事作り等のスタッフで支えました。

準備は4月から始まり、毎年、いかに子どもたちの実のある行事にするか、議論を重ねて開催しています。今年、育友会だけでなく、生徒会が打合せに参加しました。そして、生徒達から「運営に参加し、生徒の思いを入れたウォーキングにしたい」と意見がありました。保護者同士、あるいは生徒を交えた打合せは、延べ20回を超えました。生徒は、スローガン、ポスター作成・掲示、方針決めなど、とても積極的でした。生徒が主体性を持って運営に参加し、そして親子で味わう達成感、満足感、そして感謝の気持ち。

「その一歩から感じよう！ あふれる緑とあふれる笑顔」今年のスローガンです。240人の集団歩行を安全に支える準備、体制は、とても大掛かりです。5年前に始めた頃の育友会の方々の御尽力は、計り知れないと思います。その諸先輩の築いた基礎の上にいる私たち保護者は、継続発展させ、そして、いつかは中海中学校の伝統へとつなげていきたいです。毎年、保護者の参加人数は増え、生徒達と一緒に歩く保護者の



参加が増えています。当日、3年生は、途中の給水や、朝食配布、隊列管理を行い、そしてゴール後、すべての人に感謝の気持ちを込めて、かき氷を作りました。当日は、最高気温35度の炎天下でしたが、ほぼ全員が無事19キロを完歩しました。復路は、特に暑くつらいです。女子生徒が、励まし合って歩いている姿を何度も見ました。生徒の書いた感想文を見ても、「とても歩けそうでなかったけど、友達がいちから頑張ってくれた。ゴールしたあと、生徒が作ってくれた、かき氷を食べている姿は、生徒も大人も関係なく皆共通の達成感、満足感に包まれています。」

多感な中学時代に、全校生徒と親が中心になって、同じ事に挑戦し、達成感を共有できる経験は、とても大切であり、労多くとも行う価値があります。そして、この行事が、多くの方々のお力のおかげで、無事終わったことに、感謝の気持ち一杯です。

小松市立学校PTA連合会 小・中学生総合保障制度 「自転車総合保険・こども総合保険」

★ **簡単支払特急便** お電話一本でスピーディーに保険金をお支払

ケガによる入院・通院で、5万円以下のご請求は、電話による事故報告のみで保険金をお支払します。

★ **ご加入のお子様のみ対象** セカンドオピニオン アレンジサービス

医大の教授・名醫教授クラスの先生方(総合相談医)がセカンドオピニオンをご提供します。

★ **ご加入のお子様とご家族対象** マイホームドクター24

医師や経験豊かな看護師・臨床心理士等が、医療・健康・ストレスに関してアドバイスをします。また、医療機関に関する情報も提供します。

▶ ※詳しくは、4月に配布されたパンフレットをご参照下さい。◀

ご加入の方は上記サービス内容をお気軽にご利用ください。

■引援保険会社 AIU保険会社(エイアイユー・インシュアランスカンパニー)金沢支店 〒920-0869 石川県金沢市上通町2-37 金沢三栄ビル3F TEL:076-223-1144



大切なお子さまのために。

- お子様の自転車搭乗中のケガの補償 ▶ 傷害保険金
- お子様の24時間のケガの補償 ▶ 傷害保険金
- 扶養者の方が万一の場合の補償 ▶ 育英費用保険金
- 日常生活上の賠償事故の補償 ▶ 賠償責任保険金

事故のご報告・保険金のご請求… (受付時間:24時間365日)

AIU事故受付専用ダイヤル 電話 0120-01-9016 (通話料無料)

A-000214 (2010年8月現在)

平成22年度 市P連組織

顧問 本村 与茂 茗荷谷 豊		会長 西出 稔 (板津中)		監事 村本 吉広(丸内中) 山本 孝夫(中海小)		◎委員長 ○副委員長 ●校長
副会長 宮岸 和弘 (戸城小)	副会長 鹿田 稔夫 (串小)	副会長 山岸 稔 (松岡中)	副会長 中田浩大(稚松小) (石川連PTA連合会副会長)	副会長 黄木幸代(戸城中) 菅野美伊(稚松小) 奥山裕子(戸城中) 西木戸豊子(第一小)		会計 藤野 敦子(御幸中) 〔石川連PTA連合会 家庭教育部員〕
総務委員会 太田 山本 押野 山本 幸夫 中島 猛 藤代 幸小	広報委員会 ◎横山 康治(向新小) ◎福島 知朗(稚松小) ◎北口 真也(重津小) ◎寺山 眞也(重津小) ◎山口 晃裕(串小) ◎寺山 眞也(重津小) ◎山口 晃裕(串小)	新世代委員会 ◎坂口 晃裕(串小) ◎寺山 眞也(重津小) ◎山口 晃裕(串小)	豊かな心を育む委員会 ◎山内 勇(今江小) ◎井田 秀喜(第一小) ◎奥 宏誠(尾野小) ◎竹中 豊太郎(日末小) ◎澤田 織成(天丸小)	母親委員会 ◎藤原ひとみ(戸城小)	特別委員会 ◎新田 寛之(安宅小) ◎中田 浩大(副会長) ◎宮岸 和弘(副会長) ◎鹿田 稔夫(副会長) ◎山岸 稔(副会長)	事務局 宮野 由美
◎村中 幸夫(串小) ◎吉田 洋(西尾小) ◎寺 節郎(日末小校長)	◎山越 清寛(串小校長)	◎三宮 誠(尾野小) ◎坂口 晃久(串小)	◎川端 淳一(那谷小) ◎高林 宏和(尾野小) ◎村本 吉広(丸内中) ◎木原 浩一(西尾小校長)	◎板倉 順子(安宅谷小校長)	◎奥山 裕子(副会長) ◎黄木 幸代(副会長) ◎菅野 美伊(副会長) ◎西木戸 豊子(副会長) ◎藤野 敦子(副会長) ◎澤田 幹子(副会長)	

編集後記

上半期の話題といえば、サッカーW杯で石川県に縁がある選手の活躍で日本は太りに沸きました。この先、小松の地で生まれ育った子ども達が世界をあとと驚かせ日本を明るくしてくれる事を願っています。

広報委員長 坂口 晃裕